

講義名	情報倫理		
科目区分	専門基礎科目		
担当教員	森津 秀夫		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 1時限		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	41007

主題と概要

インターネットの普及に伴い、電子メールでの迷惑行為、Webサイトでの詐欺行為、不正アクセスによる情報漏洩、著作権の侵害、文化摩擦など、日常生活において、これまでにないトラブルが生じている。このようなトラブルを避けるため、「情報倫理」では情報社会で生きるために必要な最低限の知識を身につけることをめざす。

到達目標

受講生は、情報社会における加害防止、被害防止のために情報に接する一人一人が求められる資質を取得することが目標となる。

提出課題

レポート課題や複数回の演習・小テストを予定している。

評価の基準

授業参加度・演習・小テスト及びレポートに40%、定期試験に60%を目安として点数配分し、評価する。レポートもしくは演習・小テストと定期試験により達成度を評価する。

履修にあたっての注意・助言他

講義内容は、普段からよく見聞きする事柄も多いと思います。しかし、詳しいことまでは意外と知らないこともたくさんあります。また情報倫理に関わる事柄は多岐にわたります。個々の事柄は簡単でも、非常にたくさんの知識を修得しなければなりません。このため、知っていることも、知らないことも、講義中はしっかりとメモを取ってください。知っているかどうかは後で判断し、自分の知識や経験を再確認してください。知らないことはこの機会に是非修得してください。
まわりの学生に迷惑をかけるような講義中の私語は厳禁！です。そのような学生は退室させます。

教科書

インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版	情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ	実教出版	486円	978-4-407-
--------------------------	-----------------------	------	------	------------

プリント資料及び参考文献

必要な際にはプリント資料を配布する。参考文献は担当教員が指示する。

授業計画

- 01 情報倫理の概要
- 02 情報社会の特徴
- 03 情報の受信と発信
- 04 個人情報
- 05 知的財産1
- 06 知的財産2
- 07 電子メールによる情報の受信・発信
- 08 Webページによる情報の受信・発信
- 09 ネット上のコミュニケーション
- 10 社会生活における情報
- 11 身近な生活における情報
- 12 ネット社会におけるトラブルと犯罪
- 13 情報セキュリティ
- 14 コンピュータへの被害
- 15 ネット社会のセキュリティ技術

予習・復習

授業計画を参照して教科書の予定箇所を予習し、講義終了後には当該箇所を復習すること。また情報倫理に関する新聞記事には目を通しておくこと。講義内容に関する下調べと事後確認に毎回4時間程度をかけることを目安とする。なお、レポート作成もその中に含む。

備考